

## 上関地点 2020年度 上半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。

陸生、海生生物については、過去の調査結果と比較して顕著な変化は見られなかった。

項目		調査時期	調査結果概要			
水質	陸域工事 排水の水質	4月 7日 5月(中止) <sup>※1</sup> 6月 2日 7月17日 8月 6日 9月 1日	水素イオン濃度、浮遊物質量ともに管理目標値内であった。			
			項目	調査結果	管理目標値	
			水素イオン濃度	6.7~7.6	5.0以上9.0以下	
			浮遊物質量 (日平均値)	16mg/L 以下	150mg/L 以下	
陸生生物	ハヤブサ	4月14日 4月(2回目)(中止) <sup>※1</sup> 5月(1回目)(中止) <sup>※1</sup> 5月(2回目)(中止) <sup>※1</sup> 6月 2日 6月16日	鼻線島において、4、6月に雌雄を確認したが、ヒナや幼鳥は確認されなかった。			写真 1
	植 生	6月10、11日 7月 2、3日	イヨカズラを7箇所18株、ジュウニヒトエを49箇所335株、イヌノフグリを2箇所60株、ギンランを1箇所2株、ビヤクシンを1箇所1株確認した。			
海生生物	潮間帯生物	4月(中止) <sup>※1</sup>	—			
	海藻草類					
	底生生物					
	スナメリ	4月~9月(4回/月) (4月1回、5月4回を中止) <sup>※1</sup> 計19回	確認回数は計34回、延べ64頭を確認した。			
	カクメイ科 等の貝類	6月15~17日 8月26~28日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 タイドプール <sup>※2</sup> 2箇所のうち1箇所は、岩盤の崩落があり、引き続き崩落の恐れがあるため、1箇所で調査を実施した。			

※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一部調査を中止した

※2 タイドプール:干潮時に海辺の岩場にできる潮だまり

## 【参考】

### 《環境監視調査計画以外の環境調査》

- カムリウミスズメ  
8月に延べ5個体(祝島の北東, 南東)を確認した。
- カラスバト(写真3)  
計画地点において, 8月に鳴き声を確認した。  
なお, 鼻線島においては, 7, 8, 9月に姿および鳴き声を確認した。

### 《その他》

- 鼻線島のミサゴ(レッドデータブックやまぐち2019「準絶滅危惧」, 環境省レッドリスト「準絶滅危惧」)の繁殖行動状況について, 継続観察した結果, 7月に巣立ち後の幼鳥3羽を確認した。(写真4)
- 鼻線島において7月にクロサギ(レッドデータブックやまぐち2019「絶滅危惧Ⅱ類」)の幼鳥2羽を確認した。(写真5)
- カクメイ科等の貝類調査において8月にユキスズメ科のヒナユキスズメ(環境省レッドリスト「準絶滅危惧」)を確認した。(写真6)

## 【調査写真】

### 写真1:ハヤブサ



(4月14日 巣に入る雌)



(4月14日 岩場に留まる雄)

### 写真2:植生



イヨカズラ



ジュウニヒトエ



イヌノフグリ



ギンラン



ビャクシン

**写真3:カラスバト**



(8月24日 鼻繰島)

**写真4:ミサゴ**



(6月2日 巢内のヒナ3羽)

**写真5:クロサギ**



(7月16日 岩場に留まる幼鳥2羽)

**写真6:ヒナユキスズメ**



(8月27日 ヒナユキスズメ)